

「携帯電話&デジカメ充電器au(CDMA)用」をお買い上げいただきましてありがとうございます。本取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。取扱説明書は大切に保管し、いつでも参照できるようにしてください。

携帯電話機 au(CDMA) でご使用する場合

デジタルカメラで、使用する場合は裏面をよくお読みの上、ご使用ください。

警告

指定乾電池以外は使用できません。

単4型アルカリ乾電池以外の電源は絶対に使用しないでください。

分解、改造などは絶対に行わないでください。

それらに起因する故障、トラブルに関しましては当社では一切の責任を負いかねます。

特長

携帯電話機の電池切れを待つ必要がなく、いつでも使える過充電防止付急速充電器です。使用電池は容易に入手できる単4型アルカリ乾電池を4本。電池交換式ですから半永久的に使えます。

携帯電話機が電池切れの緊急時から使用して、30分～最長約2時間(A1101S、当社実測値)連続通話できます。携帯電話機の機種や電池パックの消耗状態によって異なります。

使用方法

本体裏の電池蓋をスライドさせてはずし、単4型アルカリ乾電池4本を入れます。必ず4本とも新品の同じブランドの乾電池をご用意ください。電池蓋の刻印に従い、+ - の極性を間違わないようにご注意ください。

必ず、携帯電話機の電源を切ってからコネクターを携帯電話機の充電用端子に接続します。しっかり奥まで挿入してください。

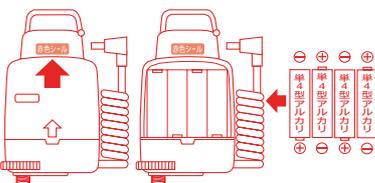
接続する際、携帯電話機の向きにご注意ください。適合表に黒文字で記載しました電話機は、本製品の黒シールが電話機の裏面に向くように接続されますが、赤文字記載の電話機では、本製品の赤シールが電話機の裏面に向きます。この向きを間違えますと、メモリーが消失したり電話機本体や電池パックが破壊する危険がありますので絶対に守ってください。

必ず、本体のスイッチ2を5Vに合わせ、スイッチ1をONにしてください。

携帯電話機の電源は必ず、5分待つから入れてください。

携帯電話機が電池切れの状態から充電した場合1回の充電で満充電まで達しません。機種によって異なりますが、電池パックの7～9割まで充電できます。

使用するごとに乾電池を使い切るまで充電せず。通話、待ち受けなど必要な時間だけ使用すれば、乾電池を回かんに使い分けずることができ経済的です。使用するごとに乾電池は減っていきますのでご注意ください。

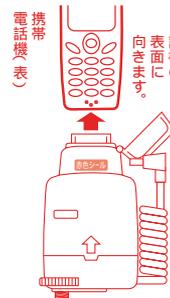


接続方向

お使いの携帯電話機により本製品との接続方向が異なりますので、適合表にてお使いの携帯電話機をご確認の上、ご使用ください。



パッケージ裏面適合表内黒文字記載の携帯電話機は黒色シールが携帯電話機の裏面に向きます。



パッケージ裏面適合表内赤文字記載の携帯電話機は赤色シールが携帯電話機の裏面に向きます。

使用上のご注意

携帯電話機とデジタルカメラを同時接続してのご使用は絶対にしないでください。

携帯電話機は連続2時間以上は使用しないでください。乾電池は、連続使用約1時間30分から2時間で充電能力がなくなります。2時間以上携帯電話機に接続したまま放置しますと、電話機の電池パックが放電する可能性があります。ケットスイッチの中心に入れたまま使用しないでください。部分的に大きな力がかかりますと、接触不良を起こしたりトラブルの原因となります。

充電状態は携帯電話機でご確認ください。長時間充電しても携帯電話機の電池レベルが上がらない場合は一度電話機の電源を切り再度立ち上げご確認ください。

データ通信では、乾電池の消費量が大きくなる場合があります。メールなどデータ通信を行いますと、通常の通話に比べて使用できる時間が短くなる場合があります。また、データ通信中、携帯電話機の電源が切れ、新品の乾電池に交換して本製品を使用しても電話機の電源が入らない場合は、電話機付属の充電器を使用してください。電池パックが「完全放電」状態では使用できないこともあります。一部の携帯電話機では、電池切れのまま放置し、電池パックが完全に放電してしまいますと、電話機専用の充電器で充電できない場合や電源が入らない場合があります。取扱説明書に正しい使用方法で使用して電源が入らない場合は、電話機専用の充電器を使用して立ち上げてください。携帯電話機の電池パックは必ず装着してご使用ください。

本製品のDC出力端子や入力端子に金属類や引火性物質を入れたりしないでください。火事・感電の原因となります。直射日光の当たる場所、高温の場所中、暖房機の近くに放置しないでください。

本製品に無様な力や強い衝撃をかけたらないでください。故障・破損の原因となります。

水気の多い場所では使用しないでください。また本製品に水等の液体が入った場合にはすぐに、使用を中止してください。感電・故障や火災の原因となります。

本製品や乾電池を小さなお子様の手が届かない場所に保管してください。

使用済みの電池は各地域で定められた方法で廃棄してください。

デジタルカメラでご利用する場合

携帯電話機で、使用する場合は裏面をよくお読みの上、ご利用ください。

⚠ 警告

指定乾電池以外は使用できません。
単4型アルカリ乾電池以外の電源は絶対にご使用しないでください。
分解、改造などは絶対に行わないでください。
それらに起因する故障、トラブルに關しましては当社では一切の責任を負いかねます。

特長

旅行先やアウトドアでの突然のバッテリー切れで、撮影ができない場合にデジタルカメラにセットするだけで撮影をすることができるデジタルカメラ用携帯補助外部電源です。使用電池は容易に入手できる単4型アルカリ乾電池を4本。電池交換式ですから半永久的に使えます。SONY製デジタルカメラ用プラグ付でSONY製デジタルカメラにもご利用いただけます。デジタルカメラへの装着は三脚用ネジ穴を使用する為、ほとんどのデジタルカメラに一本化装着することが可能です。機種により約30分～3時間でほぼ満充電に達する充電器として使用することができます。充電可能機種については適合表をご覧ください。一部デジタルカメラの機種により一回の使用で満充電に達しない機種があります。

使用方法

本体裏の電池蓋をスライドさせてははずし、単4型アルカリ乾電池4本を入れます。必ず4本とも新品の同じブランドの乾電池をご用意ください。電池蓋の刻印に従い、+、-の極性を間違わないようにご注意ください。デジタルカメラの三脚固定用ネジ穴を利用し、本製品を固定してください。デジタルカメラの電源を必ず切ってから、電源ケーブルをデジタルカメラのDC電源入力端子に接続してください。

SONY製デジタルカメラをご使用の場合は本製品付属のSONY製デジタルカメラ用プラグを電源ケーブルに接続してから、デジタルカメラDC電源入力端子に接続してください。

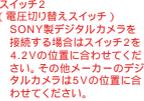
SONY製デジタルカメラでご利用の場合は必ず、本体のスイッチ2を4.2Vに合わせてください。その他SONY製以外のデジタルカメラをご使用の場合は本体のスイッチ2を5Vに合わせてください。接続したデジタルカメラの適合及び、本体スイッチ2の切り換えをご確認の上、スイッチ1をONにしてください。

スイッチ1
(電源スイッチ)



OFF ON

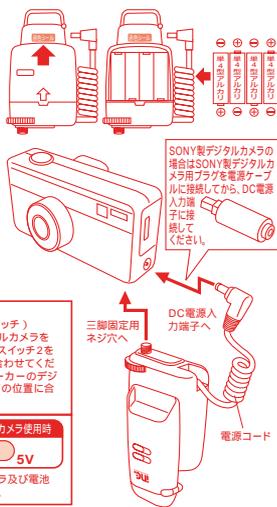
スイッチ2
(電圧切り替えスイッチ)
SONY製デジタルカメラを
接続する場合はスイッチ2を
4.2Vの位置に合わせてくだ
さい。その他メーカーのデジ
タルカメラは5Vの位置に合
わせてください。



4.2V 5V

SONY製デジタルカメラ使用時		その他メーカー製デジタルカメラ使用時	
<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
4.2V	5V	4.2V	5V

⚠ 注意: 誤ったスイッチ位置でご利用された場合、デジタルカメラ及び電池パック等の故障の原因となりますので、ご注意ください。



⚠ 使用上のご注意

デジタルカメラと携帯電話機を同時接続してのご使用は絶対にしてはなりません。

デジタルカメラは何らかの原因によって記録メディアに記録した画像が突然消失する危険性を有します。本製品を使用し、万一画像が消失しても当社では一切責任を負いかねます。必ずバックアップ保存されている画像をおすすめいたします。ご使用に際しましては自己責任においてご利用いただきますようお願いいたします。万一本製品が原因と疑証された故障が発生した場合、保証対象は画像及びデジタルカメラや記録メディア本体のみに限らせていただきます。消失してしまった画像については一切責任を負いかねますのでご了承ください。

デジタルカメラと本製品を装着時には必ず、デジタルカメラと本製品をお持ちください。脱落の恐れがあります。メモリアクセス中(画像の読み込み及び、消去等)に本製品の電源ケーブルを絶対に抜かないでください。故障・データ破損の原因となります。

デジタルカメラに本製品を固定したまま移動しないでください。デジタルカメラや本製品の落下による破損の原因となります。電源コードを無理に曲げたり、引っ張ったりしないでください。シャッター及び断線による故障の原因となります。電源プラグを必ず挿し込みコードを引っ張ったりプラグを抜かないでください。コードの絡み結び、故障の原因となります。本製品のDC出力端子や入力端子に金属類や引火性物質を入れないでください。火事・感電の原因となります。直射日光の当たる場所、高温の車の中、暖房機の近くに放置しないでください。

本製品に無理な力や強い衝撃をかけないでください。故障・破損の原因となります。水気が多い場所では使用しないでください。また本製品に水等の液体が入った場合にはすぐに、使用を中止してください。感電、故障や火災の原因となります。

本製品や電源ケーブルを小さなお子様の手が届かない場所に保管してください。使用済みの電池は各地域で定められた方法で破棄してください。

ご使用前に必ず、ご使用のデジタルカメラをパッケージ裏面適合表でご確認ください。

① パッケージ裏面の適合表内で赤色表示されている機種

電源として使用できません。

電源使用	充電使用
<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>

本製品は、パッケージ裏面の適合表で赤色表示されているデジタルカメラは使用することができません。



デジタルカメラ本体

④ パッケージ裏面の適合表内でオレンジ色表示されている機種

デジタルカメラ付属のレール(充電台)を使用すれば充電のみ使用できます。

電源使用	充電使用
<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>

本製品は直接デジタルカメラに充電できません。本製品を使用する場合は付属の充電台にデジタルカメラを接続する必要があります。



デジタルカメラ本体

充電台

デジタルカメラ本体

② パッケージ裏面の適合表内で青色表示されている機種

電源と充電として使用できます。

電源使用	充電使用
<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>

本製品は、パッケージ裏面の適合表で青色表示されているデジタルカメラは電源ケーブルに接続してから、DC電源入力端子に接続してください。



デジタルカメラ本体

⑤ パッケージ裏面の適合表内で灰色表示されている機種

本製品付属SONY用プラグを使用すれば電源と充電として使用できます。

電源使用	充電使用
<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>

SONY製デジタルカメラ用プラグを電源ケーブルに接続してから、デジタルカメラ本体のDC電源入力端子に接続してください。



SONY用プラグ

電源ケーブル

デジタルカメラ本体

デジタルカメラ本体

③ パッケージ裏面の適合表内で黄色表示されている機種

デジタルカメラ付属アダプターを使用すれば電源として使用できます。

電源使用	充電使用
<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>

電源パックを取り外し、本製品を接続する。充電にはできません。本製品をデジタルカメラに接続する際にはデジタルカメラ付属の充電台にアダプターを接続する必要があります。



デジタルカメラ本体

アダプター

デジタルカメラ本体

アダプターに接続

⑥ パッケージ裏面の適合表内で白色表示されている機種

デジタルカメラメーカー別売アダプターを使用すれば電源として使用できます。

電源使用	充電使用
<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>

電源パックを取り外し、メーカー別売アダプターに本製品を接続する。充電にはできません。本製品をデジタルカメラに接続する際にはデジタルカメラメーカー別売のアダプターを必ず必要です。



メーカー別売アダプター

デジタルカメラ本体

デジタルカメラ本体

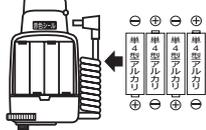
メーカー別売アダプターに接続

携帯電話機で安全にご使用いただくために

ご使用方法

① 乾電池を入れます

乾電池は4本とも新品、同ブランドのものをご使用ください。+、-の極性を間違えないようにご注意ください



② 電話機の電源を切ってください

万が一のメモリの消失などを防ぐために、携帯電話機の電源を切ってください



③ 接続部の中が汚れていませんか?



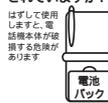
ほこりなどが詰まっていますと通電しません

必ずメモリの控えをとってください

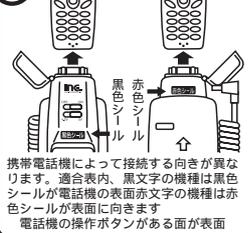


ご使用前にご確認ください

電池パックが装着されていますか?

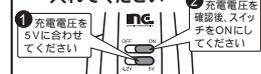


④ 携帯電話機に接続します



携帯電話機によって接続する向きが異なります。適合表内、黒文字の機種は黒色シールが電話機の表面赤文字の機種は赤色シールが表面に向きます
電話機の操作ボタンがある面が表面

⑤ 充電器を5Vに合わせ電源を入れてください



⑥ 5分待ってから携帯電話機の電源を入れてください



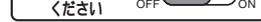
5分待っても電源が入らない場合は、ただちに電話機からはずし、3)、4)を再チェックしてください

⑦ 連続2時間以上接続しないでください



電池パックが放電することがあります

⑧ 使用後は必ず、充電器のスイッチをOFFにしてください

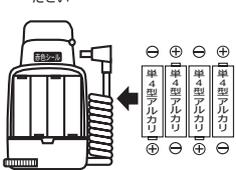


デジタルカメラで安全にご使用いただくために

ご使用方法

① 乾電池を入れます

乾電池は4本とも新品、同ブランドのものをご使用ください。+、-の極性を間違えないようにご注意ください



② デジタルカメラの電源を切ってください

万が一の撮影データの消失などを防ぐために、デジタルカメラの電源を切ってください



③ 三脚固定用ネジ穴に固定

脱落の恐れがありますのでしっかりと固定してください



④ 接続部の中が汚れていませんか?

ほこりなどが詰まっていますと通電しません



⑤ DC電源入力端子に接続してください



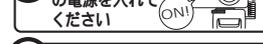
電源ケーブルをデジタルカメラのDC電源入力端子に接続してください
SONY製デジタルカメラ使用時は付属のSONY用プラグを電源ケーブルに差してからDC電源入力端子に接続してください

⑥ 充電器の電圧を確認し電源を入れてください

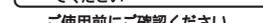


② デジタルカメラによる充電電圧を確認後、スイッチをONにしてください

⑦ デジタルカメラの電源を入れてください



⑧ 使用後は必ず、充電器のスイッチをOFFにしてください



ご使用前にご確認ください

必ず撮影データのバックアップをとってください



充電電圧を確認してください

